

FEBRUARY
2021

69
号

みやぎ県

障がい者社会参加 推進センターだより

子ども食堂に
劇団員がやってきた！



宮崎市



都城市(三股)



高千穂町

“ココロ”のふれあうワークショップ(芸文祭出張イベント)を県内3箇所で実施

演出家永山智行氏率いる「風のゆかいアート一座」かみもと千春さん、和田祥吾さん、新納愛未さんの3人による演劇「おばあさんのこいのぼり」が県内3箇所【11月：都城市（三股）の子ども食堂、宮崎市の地域活動支援センター、12月：高千穂町の福祉作業所】で上演されました。参加者全員に声を出してもらう場面や、会場内から孫役を募り参加してもらうなど、演劇に触れあう時間となりました。

content

- 国文祭芸文祭みやぎ2020 2～3P
- 宮崎県視覚障害者センター 6P
- 宮崎県身体障害者相談センターからのお知らせ 8～9P
- 宮崎県網膜色素変性症協会 10P
- センターからのお知らせ 12P
- 障がい者スポーツ協会 4～5P
- 宮崎県精神保健福祉センター 7P
- 共生社会の実現を目指して 11P

国文祭 芸文祭 みやざき 2020

令和3年7月3日から
10月17日までの107日
間、県内全市町村で文化
芸術に関するイベントを
多数実施します。

大会概要

●総合フェスティバル

開会式（7月3日）：大会の幕開けを告げる「宮崎らしさ」
を前面に出した舞台演出等
屋外イベント いざや、みやざき宵まつり（9月25日）
閉会式（10月17日）：締めくくりにふさわしい未来に
向かってのメッセージを発信



●フォーカスプログラム

これまでの暮らしや営みの中で育んできた4つの文化それぞれに、焦点（フォーカス）を当てたプログラム

○記紀・神話・神楽 ○宮崎国際音楽祭 ○若山牧水 ○宮崎の食文化



●分野別フェスティバル

各市町村それぞれの地域の特色を生かした文化・芸術プログラム

●共に生きて共に感じる芸術文化プログラム

文化を通じ、障がいのある人もない人も共に生きる社会の実現を図るプログラム

●パートナーシッププログラム

様々な団体と連携し、多くの県民が楽しみながら地域の文化に触れられるプログラム



お問合せ先
第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、
第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局
宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課
企画・広報担当 TEL：0985-26-7951



公式ホームページ

次ページ
ピックアップ情報

共に生きて共に感じる芸術文化プログラムの紹介



7/10・11 **演劇公演**
「ゆかいアート村 はじまり物語」

土・日 **場所：三股町立文化会館**

劇団こぶく劇場の永山智行氏が公募した体験談「うれしいことば」をもとに書き下ろした脚本・演出による、「みやざき県ゆかいアート村」の歴史や現在・未来を県内高校の演劇部や劇団の若い世代とともに描く未来に向けての演劇公演です。



8/7 “こころ”のふれあうフェスタ2020

土 **場所：メディキット県民文化センター**

平成25年度から障害者週間に合わせて毎年開催している、県内で活躍する障がいのある人が主役のステージパフォーマンス。司会のMr.バニーさんと出演者とのかけあいや、ゲスト出演の日本ろう者劇団による手話狂言・アルケミストのライブもぜひお楽しみください。



8/22 **第40回わたぼうし宮崎コンサート2020**

日 **場所：宮崎市民文化ホール**

その名のとおり、綿毛がはるか遠くまで舞い上がるように、40年にわたり多くの人にやさしさを届けてきました。多くの人々がたんぼの根のように深く支えてきたこのコンサートは、野田あすかさんや、音楽が大好きな県内の皆さんからの力強いメッセージをお届けします。



10/2 **アートフェスティバル**

土 **場所：宮崎市中心市街地**

知的障がいのある人を含むアーティスト集団・音遊びの会によるジャンルを超えた自由な即興演奏をはじめ、ステージイベントやマルシェ、誰でも参加できる体験型アートや、身近な材料を使って楽しめるワークショップなど、中心市街地がアート空間に変わります。



7/2 **ひなたのまんなかで**
～7/11 **～全国障がい者アート作品展～**

● **場所：宮崎県立美術館**

全国から公募した障がい者アート作品を、審査員による厳正な審査を経て展示します。入選作品が評価されたポイントは、独創的な表現力か、芸術性か。障がい者アートが放つまばゆい光彩を見つけていただく作品展です。



「3種類フラワーとはっばやり」中武卓

9/18 **短歌展「みやざき短歌きらり★」**
～9/26

● **場所：メディキット県民文化センター**

三十一文字（みそひともじ）の中には繊細な心の動きから大宇宙まで全てを写実する無限の世界があり、力強くまっすぐに読む人の心を打ちます。「家族」、「恋」、「しごと」などの共通のテーマで障がいのある人となない人が詠んだ様々な歌を、メディアアートや音楽に乗せて幻想的にお届けします。

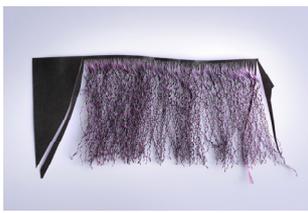


「空」野海靖治

10/2 **宮崎アーティストファイル「ギフト展」**
～10/17

● **場所：高鍋町美術館**

作家に与えられた芸術性を「ギフト」と称して注目し、作家へのインタビューを通して作品の素晴らしさの背景に迫ります。また、国内外で活躍するゲストアーティスト藤岡祐機氏の公開制作や、触れて鑑賞できる立体作品の展示なども実施予定です。



「無題」（2014年頃）藤岡祐機

10/9 **ココロノイロ**
～県内障がい者アート作品展～

● **場所：宮崎県立美術館**

平成25年度から本県で実施している「“こころ”のふれあうフェスタ作品展」と、「第19回宮崎県立特別支援学校アート展」、それぞれの作品展の個性を活かしながら、合同作品展として連携して開催します。障がい者アートの潜在能力や可能性をぜひ感じてください。



お問合せ先：第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局
宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課 障害者芸術文化担当 TEL：0985-26-7412

宮崎県障がい者スポーツ協会

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県障がい者スポーツ大会などの大きな事業の中止を余儀なくされました。

その中で、感染拡大予防ガイドラインに従い事業内容を調整し、感染予防対策を行いながらスポーツ教室、チャレンジドスポーツ、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会等の事業を実施しました。詳しくはホームページを御覧ください。

(<http://m.syospo.miyaspokyo.org/>)

障がい者スポーツ教室(市町村対象)

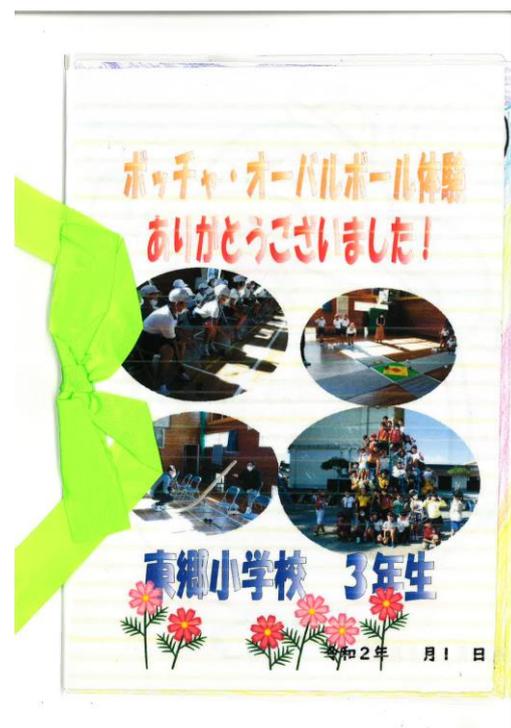


県内7市町村で、ボッチャ・オーバルボール・カローリング・スカットボール等のスポーツを体験していただきました。

出前講座



学校・施設などに協会職員や障がい者スポーツ指導員が出向き、スポーツの指導を行いました。



チャレンジドスポーツ



2027年全国障害者スポーツ大会宮崎大会に向けたチーム作りを目標に、ソフトボール(知的)・バレーボール(聴覚)・サッカー(知的)・フットベースボール(知的)の4競技を開催しました。

みんながアスリート



障がいのある児童・生徒・青少年を中心にスポーツを通して自立と社会参加を目標にした、陸上競技・ボッチャ・フライングディスク・サッカー・バスケットボール・バレーボール・ソフトボールの7競技を実施しました。

初級障がい者スポーツ指導員養成講習会



15名の方々、盲導犬(玉露君)が、4日間にかけて熱心に受講されました。

障がい者スポーツ用具の無償貸出

当協会には、フライングディスク・アキュラシーゴール・ボッチャ(ボール)・カローリング・ディスクゲッター等たくさんの障がい者スポーツ用具があります。詳細は当協会にお問い合わせください。

これらの事業は毎年実施いたします。たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

宮崎県障がい者スポーツ協会 0985-27-7417

宮崎県立視覚障害者センター はこんなことを行っています



点字図書・録音図書の制作、貸出

当センターで制作した点字図書・録音図書をはじめ、人気の図書を所蔵しています。当センターにない図書は、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を通して、ダウンロードまたは取り寄せができます。図書サービスをご希望の方は、利用登録が必要です。録音図書（デージー図書）はCDに収められていますので、利用するには専用のプレイヤーが必要になります。

図書以外にもプライベート資料の点訳・音訳もおこなっています。新聞記事・映画のパンフレット・電化製品の取扱説明書など様々な依頼があります。



点訳・音訳ボランティアの養成

宮崎県からの委託を受け、点訳・朗読奉仕員養成事業を実施しています。1年間で点訳もしくは音訳の基礎を学んでいただきます。講座を修了し、登録していただいたボランティアの皆さんは、点訳者・音訳者として活躍しています。

現在、令和3年度の『点訳・音訳ボランティア養成講習会』受講生を募集しています。点訳・音訳ともに「講習終了後にボランティア活動が可能の人」「パソコンを持参もしくは準備できる人」を条件としています。

受講料は無料です（テキスト代は実費負担）。詳細は下記連絡先までお問い合わせください。

補装具、日常生活用具のあっせん

白杖や音声時計などの補装具、日常生活用具の見本品を取り揃えています。

パソコン・スマートフォン相談会

最近ではコンピューターソフトやスマートフォン等を用いて、文字情報を音声化したり、文字入力を音声で行ったりすることも当たり前になってきています。特にスマートフォンについては外出先での行き先案内や乗換案内、さらには文字情報を読み上げるなど、活用できれば日々の不便さが緩和できるような機能も多くあります。しかしながら、機械というものは使い方を学ぶ必要があります。当センターでは、その使い方を習得していただくような支援に取り組んでいます。具体的にはアップル社のスマートフォン等の相談会を月に2回、パソコン教室を月に1回実施しています。それ以外にも事前に電話いただけたら個別の相談も行っています。機器等の持参は不要です。

【問い合わせ先】

宮崎県立視覚障害者センター

〒880-0051

宮崎市江平西2丁目1番20号1階

電話：0985(22)5670

FAX：0985(38)8730

休館日：水曜、祝日

※ホームページが新しくなりました！

URL：<https://www.miyashishou.jp/>

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・どこに相談したらよいかわからない

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

※まずはお電話ください。



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <http://miyakoro.com>

精神科医による診療相談のご案内

ご本人やご家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後2時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第2・4水曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	毎月2回 (不定期)	

※日程・時間は、医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

家族教室のご案内

精神疾患(障がい)についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

こころの電話相談

月曜日~金曜日【午前9時~午後7時】

(祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

【アドレス】 <http://www.miya-seiren.com/>

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

- タクシー：約10分
- バス利用：ボンベルタ橋前バス停まで徒歩10分
ボンベルタ橋前バス停まで7番線(下北方行)で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線(平和台行)で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

【アドレス】 <http://www.seihocenter-miyazaki.com/>

宮崎県身体障害者相談センターからのお知らせ

頭のケガや病気の後からこんな症状…
それは「**高次脳機能障がい**」かもしれません！

宮崎県身体障害者相談センターでは相談窓口を開設しています

高次脳機能障がいとは…

事故（交通事故、転落や転倒など）で頭を強打した！
脳出血・脳梗塞・くも膜下出血、脳炎、低酸素脳症など、脳の病気を発症した！
それらが原因で脳損傷が生じ、主に認知障がいにより生活に支障を来している状態です。

高次脳機能障がいは「見えない障がい」とも言われ、周囲から理解されにくいことやご自身も変化に気づきにくいことなどが特徴です。

<注意障がい>

- ミスが多い
- 注意・集中力が低下、
学校では気が散りやすい
- 作業が長く続かない
- 話の筋が飛ぶなど要領を得ない

<記憶障がい>

- 約束を忘れてしまう
- 何度も同じ質問をする
- 新しいことを覚えられない
- 学校では友達や先生の名前・日付を覚えられない、
暗記する科目が苦手
- 大切なものをどこにしまったか分からなくなる

4つの障がいは高次脳機能障がいの主要症状です！

<遂行機能障がい>

- 予定の時間に間に合わない
- 物事の優先順位をつけることができない、
学校では次の授業の準備が自らできない
- 段取りよく作業ができない
- 学校の行事など急な予定変更混乱する
- 作文や感想文などをどう書いたらよいか
分からない

<社会的行動障がい>

- 急に怒る・泣き出すなど感情を爆発させる
- しつこい、頑固にこだわる
- 場の雰囲気は無頓着で思った通りに行動する
- やる気が起きない、自発的に行動することができない

その他の症状

- 【失行症】 手足は動くのに意図した動作や指示された動作を行うことができない
- 【失認症】 見えていたり触っていたり聞こえていたりするが、それが何なのか分からない
- 【失語症】 話す、聞く、読む、書くなどの障がいでコミュニケーションが難しくなる

など

相談窓口
宮崎県身体障害者相談センター
TEL：0985-29-2556

どんな小さなことでも結構です。
遠慮なくご相談ください。

令和3年度 補装具定例・巡回判定について

当センターでは、障害者総合支援法による補装具費支給の判定を行っています。
判定をご希望の方は、事前に申請が必要ですので、お住まいの市町村障がい福祉担当窓口にご相談ください。

対象：整形外科関係補装具（義肢・装具・座位保持装置・電動車椅子等）

会場：宮崎県身体障害者相談センター

4月：7日・21日・28日 8月：4日・18日・25日 12月：1日・15日・22日
5月：12日・19日・26日 9月：8日・15日・22日 令和4年
6月：2日・16日・23日 10月：6日・20日・27日 1月：12日・19日・26日
7月：7日・14日・28日 11月：10日・17日・24日 2月：2日・9日・16日
3月：2日・9日・23日

（定例判定は上記の水曜に実施）

県内5市の保健所で巡回判定も下記日程で行っています。

日南市巡回判定

令和3年	6月 1 1日	金	日南市 (日南保健所)
	1 1月 2 6日		
令和4年	3月 4日		

小林市巡回判定

令和3年	5月 2 1日	金	小林市 (小林保健所)
	9月 1 0日		
令和4年	1月 2 1日		

都城市巡回判定

令和3年	4月 2 3日	金	都城市 (都城保健所)
	6月 2 5日		
	8月 2 7日		
	1 0月 1 5日		
	1 2月 3日		
令和4年	2月 4日		
	3月 1 8日		

日向市巡回判定

令和3年	4月 1 6日	金	日向市 (日向保健所)
	1 0月 2 9日		
令和4年	2月 1 8日		

延岡市巡回判定

令和3年	5月 1 1日	火	延岡市 (延岡保健所) (県立延岡病院)
	7月 6日		
	1 0月 5日		
	1 2月 7日		
令和4年	3月 8日		

判定に関するお問い合わせは、
「当センターまたは、お住まいの市町村障がい福祉担当窓口」にお願いします。

身体障害者手帳や特定疾患医療受給者証をお持ちの方が対象となります。

お住いの市町村にお尋ねください。申請に基づき、身体障害者相談センターが判定し、市町村が支給決定を行います。

※補装具判定は必ず、事前の申請が必要になります。

※製品検査と使用状況の確認のため、必ず補装具完成後の適合検査を受けていただくことになっています。

お問合せ先は？

👉 宮崎県身体障害者相談センター

宮崎市霧島 1-1-2 (宮崎県総合保健センター5階)

TEL : 0985-29-2556

FAX : 0985-31-3553

メール : shintaisogaisa-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp

H P : <http://www.shinsyocenter-miyazaki.com/>





宮崎県網膜色素変性症協会 (JRPS宮崎)

網膜色素変性症は、現在までこれといった治療法がない遺伝性の網膜疾患で、国の指定難病として登録されており、主な症状は次のようなものがあります。

暗い所や夜が見づらい・見えにくい・見えない。(夜盲)

明るい場所でまぶしさを感じ見づらい/見えにくい。
(羞明《シュウメイ》)

周囲が見づらくなる。中心部が見えない。(視野狭窄)

文字やモノが見えにくい。(視力低下)

徐々に進行し失明する場合がある。

※ すべての症状の現れ方や進行状況には個人差があります。

日本での患者数はおよそ3,000人に一人程と推定されており、中にはこの病気について十分な情報が得られず、遺伝性ということもあり人知れず苦しんでいる患者家族もいます。

宮崎県網膜色素変性症協会は、公益社団法人日本網膜色素変性症協会(JRPS)の41番目の都道府県協会として2017年10月に設立されました。現在は、患者や家族・医療従事者・支援者が三位一体となって早期の治療法の確立と生活の質の向上(QOL)を目指して、医療講演会・患者交流会・行政や保健所などへの要望書提出を行っています。私たちと一緒に活動して下さる患者・家族・医療従事者・支援者の方々の入会を切に願っています。

連絡先 宮崎県網膜色素変性症協会 (JRPS宮崎)

会長 竹森義則 TEL 090—1970—9649

共生社会の実現を目指して

2020年6月
念願のグループホームオープン

(宮崎県手をつなぐ育成会 事業所協議会会員)

NPO法人チームさどわら
就労継続支援B型 久峰食堂
共同生活援助 センチュリーハイツ
理事長 佐藤 君代



花ふぶき一座の皆さんと一緒に

「久峰食堂」を事業開始した平成18年頃 何とかしなければ！！ ただ闇雲に突っ走っていた気がします。ふと気づくと設立から早や13年目を迎える今振り返って思うことは、ようやくここまでと思う気持ちとまだ必要とする支援は何なのか？と考えたりもします。

当時、法人運営などのノウハウも無い一人の母親が、我が子のみならず障害を持つ多くの利用者さんと関わり、個々人の今をそして将来を共に考える事業を継続できたのは、沢山の方々の応援や思い悩んだ時に助言等頂いた方々の顔が脳裏に浮かび感慨深いものがあります。

「久峰食堂」は地域住民の皆様にもご利用いただき、イベント等にも積極的に参加する事で、ほぼ順調に運営できたのではないかと思います。

利用者さんや保護者と接し「親亡き後」でなく「親ある今」事業所として何を成すべきか？

「一人暮らしがしたいが自信が無い」「一人で暮らしたいが家賃が高くて払えない」「自分らしく住み慣れた地域で暮らしたい」「親が高齢でこの子はどうなるのかしら」等グループホームのニーズが日々高まる事は必然と言えます。数年思い悩み、ようやく共同生活援助（グループホーム）を令和2年6月に開所する事が出来ました。

地域の中で環境の整った場所に利用者さんの「住まい」を確保しグループホームとして整備しオープンするには一苦勞ありましたが、それでも地域資源を活用し休日を楽しむ利用者さんの笑顔に救われています。

グループホーム全景



グループホーム
食事風景



グループホーム
リビング



センターからのお知らせ

障がい理解を深めるための「盲導犬体験」を実施

～宮崎県福祉総合センター
フリーマーケット内にて～



秋晴れの11月21日(土)、宮崎県福祉総合センターで行われたフリーマーケット内の一角に盲導犬体験コーナーを設け実施しました。

ヴァンとヴィータ2頭の盲導犬の姿に多くの方が足を止められ、希望される方にはアイマスクをつけて盲導犬歩行を体験していただきました。

「障がい者福祉のことに知らないことが多いので、理解していきたいと感じた」「このような体験に繰り返し参加したい」等の声が聞かれました。

知的・発達障がいのある人達を理解する「疑似体験ワークショップ」を開催



12月10日(木)宮崎県福祉総合センターにおいて開催し、福祉施設関係、放課後デイサービス、保護者、教育関係者、行政などから20名の参加がありました。講師に福岡市手をつなぐ育成会保護者会の下山いわこ氏を迎え、ペットボトルや軍手等を使い「わかりにくく見えにくい障がいの体験」を参加者にしてもらい、また、下山氏の子育ての体験談などのお話もありました。参加者アンケートでは、「障がい福祉に関する仕事をしているが、実際体験してみて、子ども達がどのように感じているか、どのように接すれば支援につながるかが分かった。」「子どもを含め多くの世代の方に体験してもらい、理解されずに傷つく方を減らして欲しい」など、障がいについて実感したという多くの方の参加がありました。



「障害者週間」の啓発活動を実施

12月3から9日までの「障害者週間」の啓発活動をアミュプラザ宮崎前で行いました。当初は様々な催し物を計画しておりましたが、コロナ感染拡大の影響により啓発物の配布のみ実施しました。道行く方に配布する中で、足を止めて話を聞いてくださる方もたくさんいらっしゃいました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

発行

宮崎県障害者社会参加推進センター
〒880-0007 宮崎市原町2-22
宮崎県福祉総合センター本館4階
TEL 0985-26-2950
FAX 0985-55-0258

相談窓口のご案内

障がい者差別相談窓口

0985-23-3388

障がい者110番

0985-26-3040

障がいを理由として不利益な取扱いをされたり、障がいのある人が障がいのない人と同じように日常生活を営むことができるよう、必要に応じた支援などの合理的配慮を行わないなどの差別に関するご相談に応じます。

s-soudan@aroma.ocn.ne.jp

障がいのある方が安心して生活ができるように、様々な問題について情報提供や助言をいたします。障がいのある方やそのご家族または関係者からのご相談に応じます。

- 電話での相談を受け付けています。
- 相談時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時（正午から午後1時、休日・年末年始は除きます。）